

第7回王寺駅周辺再整備推進会議を開催しました（令和4年5月12日）

王寺町では、平成30年5月に策定した「王寺駅周辺地区まちづくり基本構想」に基づき、駅北エリアについては、防災機能の強化及び魅力の向上、駅南エリアについては、民間活力を活かした拠点機能の集約・向上など、基本構想の実現に向けて取り組む事業について検討を進めています。

令和4年5月12日に第7回王寺駅周辺再整備推進会議を開催しました。

テーマ 「王寺駅周辺地区（駅北エリア）まちづくり基本計画」について

令和4年3月7日から4月6日にかけて実施した、王寺駅周辺地区（駅北エリア）まちづくり基本計画（案）へのパブリックコメントに対する町の考え方（案）について、参加者に意見を求めました。

主な意見

<パブリックコメントに対する町の考え方（案）について>

- ・ 6名の方から意見が出たということは、非常に興味を持ってもらったということ。

<王寺駅周辺地区（駅北エリア）まちづくり基本計画について>

- ・ 計画は、よくできていると思う。また、実際に住民とも会って、話をしているということで、感心した。ぜひとも、この計画が上手く進めばと思う。
- ・ ハードの整備については、よくわかった。併せて、ソフトの整備が重要であると思う。
- ・ これまでの推進会議において、国道25号と県道194号椿井王寺線を計画に盛り込んでいただきたい旨、発言させていただいていた。今でも、その気持ちはあるが、その道路の整備が非常に困難であることは、理解している。しかしながら、災害時等の安全確保の面では、その道路の交通状況がネックとなるのは間違いないと思う。今後も、町の安全性の向上のために、国及び県への要望活動を継続して実施していただきたい。
- ・ 久度地区内における古民家の所有者が、トンネルの掘削等、インフラを整備するのに尽力いただいた方であるということを聞いた。そのような先人の知恵を取り入れつつ、まちづくりを進めることができればよいのかなと思う。
- ・ この計画の意味を考えてみた。まず、防災力の向上、市街地整備を進める役割がある。また、王寺町に住み続けてもらうには、住みやすさや交通利便性も重要であるが、もう一つ大事なのは町民にプライドを持って住んでもらうことが重要である。町民が自慢できるような町にするために、今回の計画は重要な役割を持っているのではないかと思う。